

平成23年 臨床研修修了者アンケート調査 結果概要

1. 回収結果について

配布対象者（21年度研修開始者）は7,517名、回収数は5,871枚、回収率は78.1%であった。

1) 回収数及び回収率

配布対象者	回収数	回収率	有効回答数
7,517	5,871	78.1%	5,870

2) 男女比

男性		女性		無回答	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
3,792	64.6%	2,027	34.5%	52	0.9%

3) 出身大学の所在する地域

地域	人数	割合
北海道	202	3.4%
東北	434	7.4%
関東信越	2,058	35.1%
東海北陸	737	12.6%
近畿	864	14.7%
中国・四国	697	11.9%
九州	841	14.3%
海外の医学校	18	0.3%
無回答	20	0.3%

4) 臨床研修を行った病院の種別

病院の種別	人数	割合
大学病院	2,757	47.0%
臨床研修病院	3,095	52.7%
無回答	19	0.3%

2. 臨床研修を行った病院を選んだ理由

臨床研修を行った病院を選んだ理由としては、大学病院で研修を行った研修医では、「出身大学である」(57.8%)等、臨床研修病院で研修を行った研修医では、「多くの症例を経験できる」(54.2%)、「プログラムが充実している」(48.9%)、「プライマリケアの能力を修得できる」(46.9%)等が多かった。

(病院種別に上位5項目を掲載)

大学病院で研修した研修医		
順位	理由	割合
1	出身大学である	57.8%
2	プログラムが充実している	35.8%
3	指導体制が充実している	33.2%
4	修後の進路やキャリアを考えて有利	29.9%
5	様々な診療科でバランス良い経験を積める	28.4%

臨床研修病院で研修した研修医		
順位	理由	割合
1	多くの症例を経験出来る	54.2%
2	プログラムが充実している	48.9%
3	プライマリケアの能力を修得できる	46.9%
4	様々な診療科でバランス良い経験を積める	40.1%
5	指導体制が充実している	30.9%

3. 経験した臨床研修の満足度(平均)

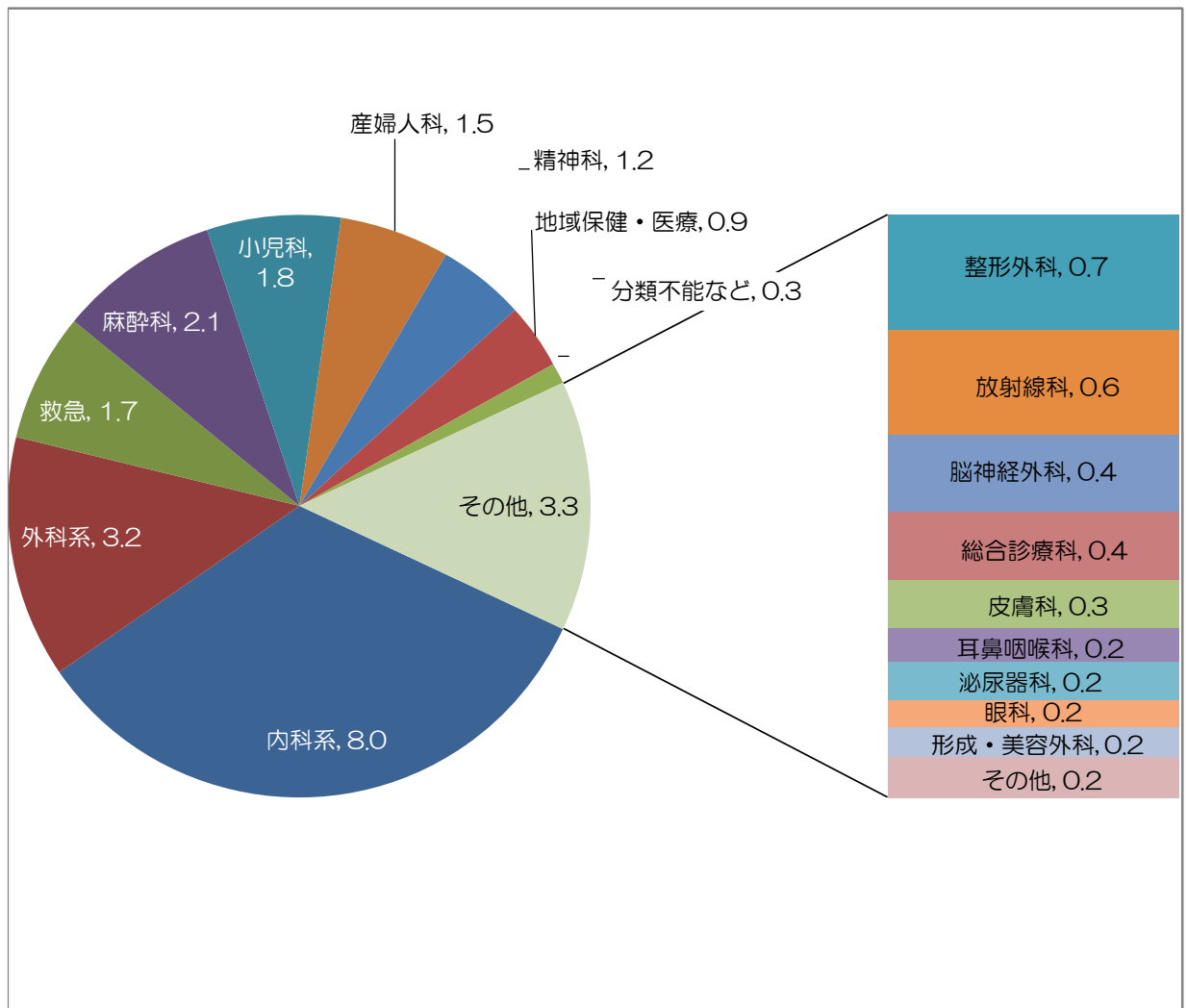
経験した臨床研修の満足度は、全体の平均は3.9点(満点は5点)で、臨床研修病院で研修した研修医の方が0.3ポイント高かった。

対象	平均
全体	3.9点
大学病院で研修した研修医	3.8点
臨床研修病院で研修した研修医	4.1点

【※評価の尺度 1点(低) ← →5点(高)】

4. 研修医の各診療科における平均ローテーション期間（月数）

各診療科の平均ローテーション期間では、「内科系」が最も長く（8.0ヶ月）、次いで「外科系」（3.2ヶ月）、「麻酔科」（2.1ヶ月）等となっていた。



内科系…内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科

外科系…外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科
産婦人科…産婦人科、産科、婦人科

その他…整形外科（0.7ヶ月）、放射線科（0.6ヶ月）、脳神経外科（0.4ヶ月）、総合診療科（0.4ヶ月）、皮膚科（0.3ヶ月）、眼科（0.2ヶ月）など

5. 臨床研修修了後に勤務する病院(予定)の種別

臨床研修修了後に勤務する病院の種別では、大学病院（3,170名、54.0%）の方が大学病院以外の病院（2,522名、43.0%）よりも多かった。

病院の種別	人数	割合
大学病院	3,170	54.0%
大学病院以外の病院	2,522	43.0%
臨床以外の進路	79	1.3%
未定、無回答	100	1.7%

6. 臨床研修修了後に勤務する病院(予定)を選んだ理由

臨床研修修了後に大学病院で勤務予定の研修医では、「出身大学である」（51.5%）、「優れた指導医がいる」（46.2%）、「専門医取得につながる」（43.0%）等という理由が、臨床研修病院で研修予定の研修医では、「優れた指導医がいる」（49.8%）、「臨床研修を受けた病院である」（40.9%）等という理由が多かった。

（病院種別に上位5項目を掲載）

大学病院を選択した研修医の回答		
順位	理由	割合
1	出身大学である	51.5%
2	優れた指導者がある	46.2%
3	専門医取得につながる	43.0%
4	臨床研修を受けた病院である	37.0%
5	病院の施設や設備が充実している	33.9%

大学病院以外の病院を選択した研修医の回答		
順位	理由	割合
1	優れた指導者がある	49.8%
2	臨床研修を受けた病院である	40.9%
3	研修プログラムが優れている	34.5%
4	病院の施設や設備が充実している	33.5%
5	専門医取得につながる	33.2%

7. 将来従事を希望する診療科

将来従事を希望する診療科では、「内科系」(33.1%)が最も多く、次いで「外科系」(12.4%)、「小児科」(7.9%)、「産婦人科」(5.6%)、「麻酔科」(5.0%)等となっていた。

研修の前後で将来従事を希望する診療科の人数の変化が大きかったのは、小児科(△154名)、麻酔科(84名)内科系(△78名)等であった。

※ △は負数

診療科	研修前に、将来従事を希望		現在、将来従事を希望		増減※
	人数	割合	人数	割合	人数
内科系	2019	34.4%	1941	33.1%	△78
外科系	727	12.4%	702	12.0%	△20
小児科	616	10.5%	462	7.9%	△154
産婦人科	385	6.6%	328	5.6%	△57
麻酔科	210	3.6%	294	5.0%	84
救急科	134	2.3%	136	2.3%	2
精神科	200	3.4%	240	4.1%	40
皮膚科	155	2.6%	161	2.7%	6
整形外科	358	6.1%	367	6.3%	9
眼科	116	2.0%	152	2.6%	36
耳鼻咽喉科	137	2.3%	150	2.6%	13
泌尿器科	120	2.0%	153	2.6%	33
脳神経外科	175	3.0%	170	2.9%	△5
放射線科	125	2.1%	190	3.2%	65
病理診断科	27	0.5%	33	0.6%	6
形成外科	74	1.3%	101	1.7%	27
リハビリテーション科	16	0.3%	22	0.4%	6

8. 将来の診療科を選んだ理由

将来の診療科を選んだ理由としては、「やりがいがある」(68.5%)、「学問的に興味がある」(59.3%)、「なんとなく相性が合う」(55.1%)等が多かった。

順位	理由	割合
1	やりがいがある	68.5%
2	学問的に興味がある	59.3%
3	なんとなく相性が合う	55.1%
4	専門性を維持しやすい	25.2%
5	優れた指導者がいる	24.0%

9. 育児休暇の取得についての考え

育児休暇の取得については、男女いずれも「仕事に復帰できるなどの条件が合えば取りたい」（女性 52.9%、男性 41.6%）との回答が最も多かった。

女性			男性		
	理由	割合※		理由	割合※
1	仕事に復帰できる等の条件が合えば取りたい	52.9%	1	仕事に復帰できる等の条件が合えば取りたい	41.6%
2	取りたい	39.9%	2	取りたくない	26.2%
3	分からない	4.1%	3	分からない	18.3%
4	取りたくない	2.5%	4	取りたい	13.2%

※ 無回答があるため、合計が100%とならない。

10. 医師不足地域での従事についての考え

医師不足地域で従事することについては、「条件が合えば従事したい」（66.8%）という回答が最も多かった。

また、「条件が合えば従事したい」という回答について、「条件」の内訳では、「一定の期間に限定されている」（54.4%）、「自分と交代できる医師がいる」（50.1%）等が多かった。

	選択肢	割合
1	条件が合えば従事したい	66.8%
2	条件に関わらず従事したくない	25.0%
3	既に医師不足地域で従事している	7.5%

○ 医師不足地域で従事するのに必要な条件（上位5項目）

	選択肢	割合
1	一定の期間に限定されている	54.4%
2	自分と交代できる医師がいる	50.1%
3	給与がよい	42.8%
4	専門医取得後である	40.4%
5	実家に近い	40.3%